

「好き」で しぼりゅーしょん

「好き」で打って出る

令和8年度テーマ

「つかう つながる つくりだす」をたんばから



3つの「T」をTanbaから

令和9年度は
創立50周年!!

スクールガイド 2026

京都府立丹波支援学校

since1978

「つかう つながる 創り出す」を丹波から

京都府立丹波支援学校は京都府の中部地域にあります。校区は広く、東は福井県と滋賀県、西は兵庫県と大阪府に隣接しています。京都丹波高原国定公園に代表されるように、豊かな自然に恵まれた人々の暮らしがあることからこの地域一帯は「森の京都」と呼ばれています。

本年度は、小学部 96 名、中学部 64 名、高等部 80 名の全校児童生徒 240 名でスタートをしました。

本年度の学校運営テーマは『「つかう つながる 創り出す」を丹波から』です。

「つかう」は、学んだことを実際の生活の中で使えるところまで高めること、「つながる」は様々な人やものや事とのつながりによって、学習を広げたり深めたりすることとそのつながりの中で児童生徒が社会に貢献していくことを目指しています。そして、「創り出す」は、生活の中で自分で楽しみを創り出したり、新しい自分を発見したりすることと新しい価値を創り出してほしいという願いを込めました。丹波支援学校のことや児童生徒のがんばりやよさをどんどん社会の人に知ってもらい、これまでになかった支援学校の新たな価値を丹波支援学校から発信していきます。

丹波支援学校は、今年度、児童生徒の好きなことをもとに打って出ます！

毎年掲げている「丹波スピリッツ」は引き続き実行していきます。「丹波スピリッツ」とは「挨拶をすること」と「チャレンジすること」です。成功からも失敗からも学び、自信にかえてたくましく成長する児童生徒を育成します。

最後になりましたが、学校運営協議会をはじめ、保護者の皆様、地域・関係機関の皆様の様々なお力添えをいただきながら引き続き「社会に開かれた教育課程」の実現を目指していきます。また、南丹圏域の特別支援教育の充実を図り共生社会の実現がかなうよう、教職員一同、努力を続けます。引き続き、本校の教育の推進に御理解をいただき、より一層の御支援を賜りますようお願いいたします。

校長 由良 知子

◇ 教育目標 ◇

学び合い・育ち合い・豊かに生き抜こうとする子ども達

- (1) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲の育成
- (2) 基礎的な学力・健康の向上と豊かな人間性の育成
- (3) 一人一人に応じて自立し社会参加する資質や能力の育成
- (4) 生涯にわたり豊かに生き抜く力の育成

「好き」で打って出る

◇ 令和 8 年度テーマ ◇

「つかう つながる つくりだす」をたんばから



3つの「T」をTanbaから

- つかう・・・学んだことができる
学んだことを生かせる
- つながる・・・様々な人・物・事とつながる
つながって貢献する
- つくりだす・・・自分の楽しみやよさを見つける
新しい価値観をつくる

◇ 児童生徒数 ◇

*令和 8 年 5 月 1 日現在

	小学部	中学部	高等部	合計
亀岡市	62	32	47	141
南丹市	26	23	20	69
京丹波町	7	9	10	26
京都市	1	0	3	4
合計	96	64	80	240

*分教室生 | 名含む

◇ 標準校時表 ◇

	小学部	中学部	高等部
1	9:00~9:25	9:00~9:25	9:00~9:25
2	9:30~10:15	9:30~10:20	9:30~10:20
3	10:30~11:15	10:30~11:20	10:30~11:20
4	11:30~12:15	11:30~12:20	11:30~12:20
	給食・昼休み	給食・昼休み	給食・昼休み
5	13:30~14:15	13:30~14:20	13:30~14:20
6	14:15~15:05	14:20~15:05	14:20~15:05
下校 15:05			

◇ 標準服について ◇

着用例



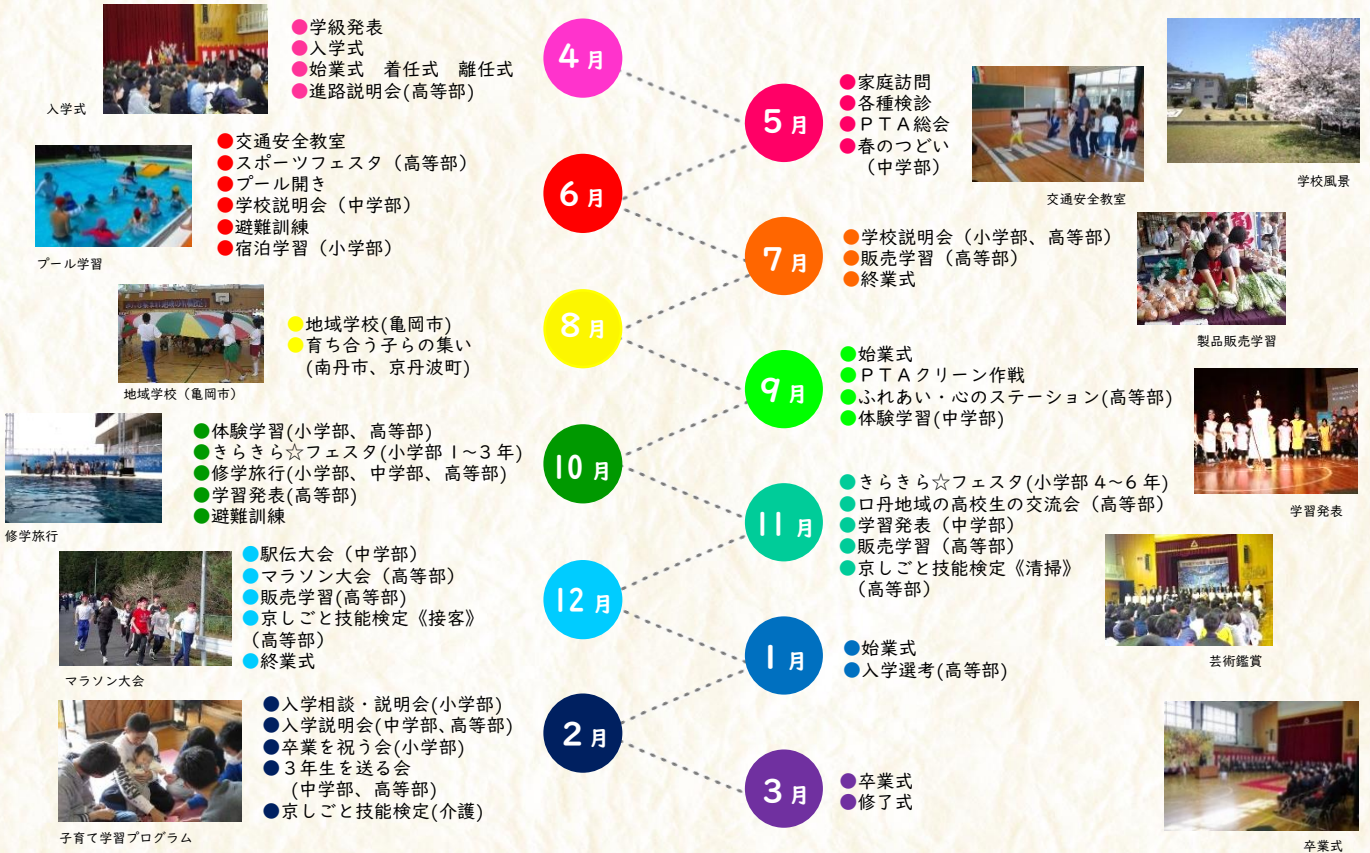
- ・ブレザー
- ・スカート
- ・スラックス
- ・リボン
- ・ネクタイ

組み合わせは自由です

- ・中学部から着用できます。
- ・丹波支援学校の生徒であることの自覚を一層促します。
- ・TPOに合わせた服装の在り方について学ぶ機会とします。

*ネクタイとリボンについては、高等部から着用します。

◇ 年間スケジュール ◇



◇ 通学について ◇

スクールバス通学
(対象…全学部)
各バス停と学校をつなぐスクールバス(11台)を利用して児童生徒が通学します。

自主通学
(対象…高等部)
公共交通機関(電車・バス)を利用して通学したり、自転車や徒歩で通学したりします。

	1号車 京丹波	2号車 日吉	3号車 本梅	4号車 馬堀	5号車 別院	6号車 亀岡	7号車 マイクロ	8号車 マイクロ	9号車 マイクロ	10号車 マイクロ	11号車 マイクロ
松山駅	原公民館	広野	森公民館前	法貴口	宇津根	丹波マークス	国道富田	亀岡市立病院前	大葉台1丁目	森公民館	
丹波マークス	下佐々江	宮前	アルプラザ前	亀岡市役所前	北町南	新光悦村	和知駅	並河	桜台公園前	アルプラザ前	
動物病院前	東谷	高芝	亀岡市立病院前	宇津根	古世口	淇陽学校前	下山 カンダ1号前	土田	古世口	古世口	
図書館前	興風体育館前	亀岡運動公園前		西田	亀岡病院前	園部駅前	動物病院	未来書房前	千代川駅	亀岡病院前	
南丹市役所前	鍼灸大学前	カインズ前			亀岡駅北口	八木嶋	淇陽学校	国道八木			
	日吉駅前	千代川駅前			小口		JR吉富駅				
	松尾										
	新光悦村										
	曾我谷口										

◇ カリキュラム ◇

*各学部の教育課程を抜粋して掲載しています。

◎ 小学部（6年間）◎

小学部では、子ども達が基本的な生活習慣、基礎的な生活力、学習への構えを身に付けて、中学部、高等部へと続く学校生活の土台を築いていきます。また、保護者と連携し共通理解を図りながら、子どもの内面を充実させ、健やかな自我を育てます。

「遊びの指導」「生活単元学習」を学習の中心に据えて、基礎体力を付けたり、伝えたいという気持ちを育てたりします。学んだことを生かして、学校近隣のスーパーマーケットで買い物をしたり、電車等の公共施設を利用したり、地域の文化に触れる学習をしたりして、様々な経験の積み重ねを大事にしています。さらに、社会生活で求められるスキルやルールの習得、「誰とでも一緒にできる」ことを大切にした集団での活動等を通して、地域の中で豊かに暮らす基盤を培っていきます。

小学部低学年（例）

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	体育	自立活動			
3	遊びの指導／生活単元学習				特別活動
4	日常生活の指導				
給食・昼休み					
5	自立活動	遊びの指導	音楽	遊びの指導	特別活動
6	日常生活の指導				



遊びの指導「ごうどうあそび」

小学部高学年（例）

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導・自立活動				
2	生活単元学習				
3	体育	自立活動			特別活動
4	日常生活の指導				
給食・昼休み					
5	遊びの指導		音楽	体育	特別活動
6	日常生活の指導				



生活単元学習「うどんしょくにん」

◎ 中学部（3年間）◎

中学部では、思春期における急激な身体の成長、第二次性徴の発現、自我が育ち自己主張が強くなってくる等、様々な変化が起こります。日々の授業では、一人一人の学び方を大切に、基礎的な学力を身に付け、生徒に達成感や自己肯定感をもたせることを心掛けています。

また、教科で付けた力を「生活単元学習」の中で使いながら生活スキルとして確かなものにし、好きなこと、得意なことを増やすとともに、友達や先生と豊かにコミュニケーションできる力を培うことを目標に指導しています。特徴的な取組としては、近隣の中学校と中学部全員による交流及び共同学習や進路体験学習、地域の休耕田を借用し、米作りをする「米米くらぶ」等があります。また、全ての学級で「作業学習」にも取り組み、働く意欲を培っています。

中学部（例）

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動				
3	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習	作業学習	音楽
4	自立活動				
日常生活の指導					
給食・昼休み					
5	総合的な学習の時間	作業学習	自立活動	特別活動	特別活動
6	日常生活の指導				



特別活動「米米くらぶ」

中学部（例）

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	国語	数学	作業学習	数学	国語
3	生活単元学習	保健体育		理科	社会
4	自立活動	美術	保健体育	音楽	特別活動
5	総合的な学習の時間	自立活動			
6	日常生活の指導		日常生活の指導		



作業学習「清掃班」

◎ 高等部（3年間）◎

高等部では、小中高12年間の学校教育の総和としてこれまで付けてきた力を確かなものにし、卒業後の生活を見通し自立と社会参加に向けた準備を進めています。また、一人一人が地域の中で自分らしく生き、幸せな人生を歩み続けるために必要な力の育成をねらい教育活動を推進しています。

教育課程の特徴である「作業学習（働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学ぶ学習）」では、日頃の学習で作上げた陶器、和紙製品、野菜等を製品販売学習で販売しています。販売を通して地域の方とつながり、地域の中で役割を果たしている実感をもたせます。さらに、卒業後の生活を見据えて、高等部段階でのキャリア発達を意識し、教科横断的に確かな「学力」を追究します。

高等部（例）

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	音楽	作業学習	作業学習	国語	生活単元学習
3	数学			特別活動	
4	自立活動				
日常生活の指導					
給食・昼休み					
5	総合的な探究の時間	美術	保健体育	特別活動	特別活動
6	日常生活の指導				



作業学習「窯業」

高等部（例）

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	作業学習	国語	自立活動	作業学習	生活単元学習
3		数学	特別活動		
4		保健体育	音楽		
日常生活の指導					
給食・昼休み					
5	総合的な探究の時間	職業	作業学習	特別活動	特別活動
6	日常生活の指導				



作業学習「農業」

◎寄宿舎◎ *入舎対象者は遠隔地等の入舎規程に基づいています。

寄宿舎は、友達との日常生活を通して生活基盤を整え、社会性を育みながら、自立し、社会参加する力を培う場です。

「安心・安定」「自分らしさの発揮」「生きていく力」「好きなこと・楽しみの発見」を柱に、一人一人の子ども達の願いに寄り添った生活環境づくりに努めています。

家庭を離れての友達との生活は、自分のことは自分でやる、自分の時間の過ごし方を考える、友達とともに遊ぶ、友達と一緒に活動する等を通して、“できた”“楽しかった”の実感を育み、心の安定を図ります。

生活の流れ

15:05 下校 *水曜日は13:35下校
 15:15 おやつ
 自由時間(季節感のある遊びやスポーツ等)
 17:00 夕食
 自由時間(入浴、洗濯、ティータイム等)



寄宿舎夏祭り

寄宿舎の行事…四季折々の季節を感じるお楽しみ会を実施しています。

◇ 交流及び共同学習 ◇

◎小学部◎

同世代の友達と一緒に活動する経験を積み、豊かな人間性を育みます。
 低学年：南丹市立八木東小学校4年生との交流
 高学年：南丹市立八木西小学校4年生との交流
 全学年：居住地区との交流



◎中学部◎

同世代の生徒と関わる楽しさや経験を広げ、相互理解を深めます。

全学年：南丹市立八木中学校1年生との交流



◎高等部◎

同じ地域・世代の友達と交流し、互いの理解を深め、学び合い、育ち合いの機会とします。

全学年：ロ丹地域の高校生の交流会



◇ 部活動等の活動成績 ◇

◎フットサル・サッカー◎



特別支援学校フットサル京都大会 準優勝
 もうひとつの高校選手権大会近畿予選2年連続出場

◎アビリンピック京都大会◎



ビルクリーニング部門 金賞(最優秀賞)
 令和8年度全国アビリンピック大会 出場予定

◎全国障害者スポーツ大会◎



全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障スポ」
 4名出場予定(卒業生含む)

◇ 卒業後の主な進路先 ◇

卒業後の進路先を企業、福祉事業所、職業能力開発校、進学、その他の5つに分類しています。

年度	企業	福祉事業所	職業能力開発校	進学	その他	合計
令和5年度	1	16	1	0	2	20
令和6年度	6	21	2	0	1	30
令和7年度	4	21	2	0	0	27

企業…ライフコーポレーション、ニチコン亀岡、鶴屋吉信、るり溪温泉、GU、ワコールアイネクスト、京都先端科学大学(事務、清掃) ミネベアショウワ、マイ・スター、大和ムービング、十川産業、株式会社マツモト、三菱自動車ウイング、ムラタコスモス、カインズ 他
 福祉事業所…亀岡福祉会、ワークスおい、城山共同作業所、通所支援センターりけい、はびあ、Grapegarden、美山育成苑、圭の家 えすべらんと・α、白桃舎 WORKS、ハーモニージョブズ、ひより舎、暮らしランプ、とんとん工房、あじさい園 あゆみ工房、u&n 就職支援センター、u&nWORKS、あしたー工房、京都太陽の園、こひつじの苑、ゆうゆう、エヌファーム ヴィレッジれん、ワークスタジオ亀岡、INCOP 京都九条、しゃくなげ共同作業所、花ノ木医療福祉センター 他

◇ たんば地域支援センター ◇

障害のある子ども達の教育や生活についての相談支援、特別支援教育にかかわるスキルアップのための研修支援を行っています。



主な相談・支援内容

- 子どもの発達や状態について
- 子どもの見方や捉え方について（発達検査を含む）
- ことばの遅れについて
- 身体の動きや姿勢について
- 学習や生活に関する適切な支援方法について
- 個別の指導計画や教育支援計画の作成と活用について
- 支援のコーディネーションやコンサルテーションについて
- 就学や進路指導の進め方について
- 校内研修会等への講師の派遣について

お問い合わせ

障害や発達、子どもの気になる行動、困っていることがあれば、まずはお電話ください。

☎ 0771-42-5185

*たんば地域支援センター担当まで
(月曜日～金曜日 9:00～17:00)

◇ アクセス ◇

電車でお越しになる場合



JR 嵯峨野線「八木駅」より徒歩 30分

お車でお越しになる場合



京都方面より
京都縦貫自動車道「八木東 IC」下車 3分

福知山方面より
京都縦貫自動車道「八木中 IC」下車 5分



校章



全体の形は、丹と輪（和）から成り立っている。

1. 丹波高原の自然の美しさ（準平原）を表し、恵まれた自然の中でのびのびと成長を願うものである。
2. 丹は一市二郡（亀岡市・旧船井郡・旧北桑田郡）を意味し、それぞれが輪によって結ばれ、本校が一市二郡によって設立され、今後も協力・協調して学校づくりを目指すものである。
3. 丹の字の先端は一人一人の子どもの成長と発達を限りなく願うものである。

京都府立丹波支援学校

〒629-0154 京都府南丹市八木町柴山坊田118

TEL 0771-42-5185 FAX 0771-42-5186

HP <https://www.kyoto-be.ne.jp/tanba-s/cms/>

Mail tanba-s@pref.kyoto.lg.jp

